

自ら身を削り、国民の希望を形にする!

皆さんこんにちは。衆議院議員のきいたかしです。寒い日々が続きますがお元気で過ごしていきましょう。無沙汰をしている皆様、不義理の段をお許しください。さて、本号は、この1年間の活動と今後の取り組みについて、限られた紙面ですることができる限りご報告を申し上げます。これまでご縁をいただいた皆様にお送りさせていただきました。厳しい意見こそしっかり受け止めて頑張ります。ご高覧の程よろしくお願ひ申し上げます。おかげさまで国政復帰から2年4カ月余り、一日日頑張っております。

また23年度通常予算に加え3次にわたる補正予算を編成し、その迅速な成立に尽力しました。9月には野田内閣が発足、図らずも文部科学大臣政務官を拝命、教育とスポーツを中心に政務三

私は、国民の希望につながる政策の実現に引き続き徹します。今後とも皆様の厳しくも温かいご支援をお願いいたします。

城井 崇 拜



▲衆議院予算委員会での公開調達のムダづかい見直しを提言

平成9年4月25日 第3種郵便物認可
きいたかしレポート
 〈2011年活動報告特集号〉
 きいたかしのホームページ
<http://www.kiitaka.net>
 ●きいたかしブログ(ほぼ毎日更新中)「ホームページから入れます」
 きいたかしのEメールアドレス smile@kiitaka.net

後援会だより



きいたかし後援会は、最初にご提供いただいた草の根応援団「きいたかしを支える会」、物心両面で支えていただく頼もしい企業家中心の応援団「きいたかし会」、門司のボランティア魂あふれるあつたかチーム「10区・たかし会」、チャリティ活動などにも熱心な企業家中心の応援団「北九州たかし会」をはじめとして多くの皆様によって作っていただいています。

●おかげさまで400名を突破!

きいたかしワンコイン維新くらぶできいたかしの育てよう!

今後、政治活動にかかわる資金は個人献金中心に切り替えていくべきです。政治を国民の手に取り戻す新しい政治参加の「北九州スタイル」として取り組み、全国に発信しています。政治家きいたかし個人の活動を支えるため、個人個人がワンコイン→500円を毎月会費として納めていただき、特定のどこからも、誰からも、しつらみなく自由な政治活動をできることを目指します。*詳しくはきいたかし後援会事務所(電話093-941-7767)まで

2012●きいたかし新春の集い

恒例の「新春の集い」を後援会主催で開催する事となりました。今回はきいたかし代議士の国会・内閣での活動を詳しくご報告させていただきます。会場も門司会場と小倉会場の2カ所で開催させていただきますので、みなさまお誘い合わせの上どうぞお気軽にご参加頂戴をお願い申し上げます。

〈門司会場〉
 ●とき/2012年1月29日(日)
 開場13:30・開会14:00
 ●ところ/門司港ホテル
 北九州門司港地区通9-11 TEL.093-921-1111
 ●会費/1,000円(会場、資料代として、飲食ありです。)

〈小倉会場〉
 ●とき/2012年2月4日(土)
 開場13:30・開会14:00
 ●ところ/ステーションホテル小倉
 北九州小倉北区遠町1-1-1 TEL.093-541-7111
 ●会費/1,000円(会場、資料代として、飲食ありです。)

(主催・お問い合わせ) きいたかし後援会(電話093-941-7767)

きいたかし後援会事務所

●北九州事務所 〒802-0072 北九州小倉北区東藤崎1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
 ●国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館808号室 TEL.03-3508-7138 FAX.03-3508-3438

●きいたかしのブログをご覧ください
 きいたかしのブログは、ホームページから入れます
 ●ホームページ http://www.kiitaka.net/ ●メール smile@kiitaka.net

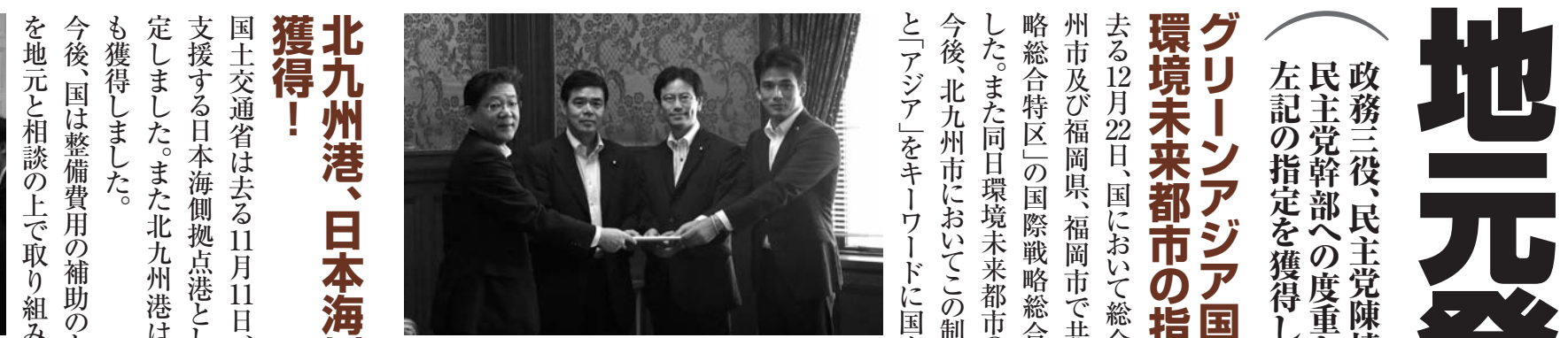
きいたかしと地元でともに頑張る仲間たち

▼北九州市議会議員
 松井 克演 (69歳) 民主党現職7期
 奥永 浩二 (41歳) 民主党現職1期
 世良 俊明 (60歳) 民主党現職5期
 奥村 直樹 (35歳) 民主党現職1期
 永岡 啓祐 (38歳) 民主党現職1期
 森 浩明 (42歳) 無所属現職4期
 馬場 一榮 (55歳) 無所属現職6期
 ▼福岡県議会議員
 泉 日出夫 (43歳) 民主党現職2期
 原田 博史 (45歳) 民主党現職2期

アジアの元気を北九州に取り込むために政府・与党内を奔走!



▲11月/関門港の整備促進について北橋市長らの要望活動に同行



▲7月/グリーンアジア国際戦略総合特区の要望活動に同行

北九州港、日本海側拠点港の指定を獲得!

国土交通省は去る11月11日、国際競争力の強化に向けて整備を支援する日本海側拠点港として、関門港(北九州港・下関港)を選定しました。また北九州港は全国で5港の「総合的拠点港」指定も獲得しました。

今後、国は整備費用の補助のかさ上げや税制優遇などの支援措置を地元と相談の上で取り組めます。

今回支援対象として認められた「国際海上コンテナ」と「国際フェリー・国際RORO船」、「国際定期旅客の3機能のさらなる強化に加え、総合的拠点港として液化天然ガス(LNG)の取扱量拡大などそれ以外の機能強化も取り組んでいきます。

アジアから経済の元気を呼び込む九州の玄関口として、北九州港の海上物流を私も引き続き支援します。

きいたかしはこう考える。

安全で安定したエネルギー確保(原子力等)

今夏に政府のエネルギー環境会議において、今後のエネルギー利用計画の見直し方向が決定されました。私は東京電力福島原発事故を踏まえ、原子力利用を減らす方向が必要だと考えます。それに代わる自然再生エネルギーの活用を節電とともに国が促してさらに進めるべきです。しかしこれには少し時間が必要ですが、当面は石油や石炭、天然ガスなど高騰する化石燃料による火力発電に依存せねばなりません。

安全で安定したエネルギー確保(原子力等) 電を相当分活用する前提でしたのでもっとの除染や原子力の廃炉にも実行力があるため、その技術を確立を長期にわたる養成・採用できる基盤が不可欠となります。

不人気になると予想される原子力分野でどうやって技術者の質を保持していくか含めて今後のエネルギー活用、特に原子力の研究開発及び利用の取り扱いを決めていかねばならないことを我々は留意すべきです。

私もお国民と国益を守る点から行動してまいります。

今後の自由貿易のあり方(TPP等)

資源が乏しい我が国は人材と科学技術が命。付加価値で世界と競って行くにはこれからは自由貿易の恩恵を預かりながら生きていくべきだと考えます。

その意味で他国と経済関係を深めることは非常に重要です。しかし、我が国が培ってきた良い部分を他国に差し出さずまで付き合う必要があるでしょうか。例えば仮に「国民皆保険制度」や「安全な食べ物」の確保が明らかに脅かされる状況があれば、交渉のテーブルを蹴って帰ってくるべきではないかと思うのです。

現在我が国には日米同盟やAPECに加え、日中韓FTA交渉、TPP交渉参加に向けた事前協議、二国間での交渉など様々なチャンスがあります。そうした入り口を活用し、外交交渉にしっかりと入り込み、我が国が勝ち取りたい国益を主張していきたいと思います。

私もお国民と国益を守る点から行動してまいります。

社会保障と税一体改革(消費税含む)

社会保障の改革は待たなしの状況です。現在は3人の若い世代で1人の年長者を支える「騎馬戦型」ですが、2050年には1人が1人を支える「肩車型」にならざるを得ないことがわかっていきます。

国の借金も限度が近づき消費税を含めた社会保障と税の抜本的な改革は与野党超えてやらざるを得ないと考えます。

しかし、その前にやるべきことは多岐にわたります。消費増税の前に議員定数の削減や公務員給与削減など増税を決めるべきです。

況があれば、交渉のテーブルを蹴って帰ってくるべきではないかと思うのです。

現在我が国には日米同盟やAPECに加え、日中韓FTA交渉、TPP交渉参加に向けた事前協議、二国間での交渉など様々なチャンスがあります。そうした入り口を活用し、外交交渉にしっかりと入り込み、我が国が勝ち取りたい国益を主張していきたいと思います。

私もお国民と国益を守る点から行動してまいります。

地元発展のために

TPPに注目

活動報告

国会・政府・与党においてきいたかしの様々な役割を預かり、二つの成果をあげています。その一端を写真とともにご紹介いたします。

世界が振り返る教育・技術立国の実現へ

●文部科学大臣政務官として
おかげ様で9月発定の野田佳彦内閣において文部科学大臣政務官を拝命。



野田佳彦内閣にて文部科学大臣政務官を拝命。

野田内閣の政務三役では最も若手という異例の抜擢。主に教育とスポーツを担当、科学技術・文化政策でも積極的に発言しています。「世界が振り返る教育・技術立国」の実現は、政治家としての大きなチャンス。最大限に活用していきます。来年度予算案では、低所得世帯の学生が卒業後に一定の収入を得るまで返済を待つ「出世払い型奨学金」を創設。経済的に苦しくとも望めば学ぶ機会を得られる仕組みを実現させます。

他に小2の35人以下学級実現、大学改革推進経費を創設、公立学校耐震化90%超の実

現、私学助成7年ぶり増額、留学生の海外派遣を大幅拡充、科学研究費新規採択の9割の基金化等も実現。また来年度予算案のムダづかいを内部で厳しくチェックしています。日本再生重点化措置、提言型任分け、独立行政法人改革等に対しそれぞれに「具体的」に国民の役に立つかや「国民の税金や国の権威を使わせても十分な根拠づけやバックデータがあるか」を厳しい目で省内チェック中でも、もんじゅ関連予算は安全確保を前提に大幅削減し計画も見直しました。来夏に最終的な取扱いを決めます。

一年間で4つの予算を審議成立

●衆議院予算委員会理事として

国の予算全般を審議する委員会、当選2回としては異例の理事に。主な仕事は、国民新党との連絡調整、出席委員の確保など、9月4日まで担当していました。東日本大震災の復興・復興、円高対策、新成長戦略推進に関わる本年度通常予算に加えて、第一次、第二次、第三次補正予算という1年間で4つの予算を審議、成立させました。

2月には質疑に立ち、中小企業の研究開発支援、政府調達(特に二者応札(入札も落札も者のケース)のムダづかい見直しなどについて具体的な提言改善を求めました。また、予算委員会の夜間開催、聞き苦しいヤジの自粛、スキャンダル追及を別委員会で行うなどの予算委員会改革を若手議員の仲間とともに提案中です。

被災地の子どもたちに尽力

●衆議院青少年特別委員会理事として

青少年を取り巻く諸問題に取り組む。東日本大震災関連では、被災地の子どもたちへの丁寧な心のケア、震災孤児・遺児への丁寧な対応、乳幼児・母親への放射能の影響への迅速な予防措置などに尽力しました。7月13日には、福島県双葉町から避難している

被災者を受け入れられている埼玉県加須市へ現地調査に赴き、加須市並びに双葉町からの聞き取りや避難所となっている旧駒西高校、近隣の小学校で生活面・子どもたちのケアの面での取り組み等を詳細に調査、政府施策へ反映させました。

子ども政策の現実的な見直しに着手

●民主党子ども男女共同参画調査会事務局長として

幼保一体化、子ども手当などを含めた子ども子育て新システムの完成やワークライフバランスの推進に向けた党の提言をまとめる役を担った。子ども手当の支給について、大震災の復興予算確保のため政策の優先順位を見直すべきと主張、低・中所得者を中心とした子育て家庭への影響を最小限にとどめる見直し案を仲間と検討、党と政府へ提言しました。

幼保一体化については、幼児教育と保育の良き積み重ねを生かした子ども園への一体化を図るべく尽力しています。また、震災遺児・孤児への細やかな支援についても党と政府へ提言しました。

超党派での議員立法へ大きく前進!!

●民主党カネミ油症対策議員連盟幹事長として

発症から43年が経過するカネミ油症の被害者支援に2004年以來取り組んでいる。超党派の議員立法を目指して民主党カネミ油症対策を進める議員連盟を立ち上げました。被害者や油症治療班からの聞き取りを行うなど被害者支援素案とりまとめの中心を担っています。

8月には呼びかけ人として超党派の議員連盟を再稼働、政府や政策調査会との調整にも引き続き取り組んでいます。残念ながら油症に対する国の責任は裁判で認められていませんが、被害者の多くは高齢に達しており、医療費支援や原因究明、治療法研究促進など、二日も早く被害者支援を前進させます。

海からアジアの元気を取り込む

●民主党港湾振興議員連盟事務局長として

我が国の港湾振興に関わる政策提言や要望活動を行う。本年7月から事務局長に昇格。東日本大震災発災直後にも自衛隊や救援物資輸送で大活躍したフェリー等の国内船舶にかかる規制等への配慮を同僚議員と要請しました。10月末には前田国土交通大臣、安住財務大臣へ議連役員で来年度予算への港湾予算充実を要望しました。

さらに北九州港が下関港と組んだ「関門港」への「日本海側拠点港」の指定を獲得。コンテナやフェリー、旅客船に関する機能強化等を国と一体で取り組み、海上物流を強化してアジアの経済の元気を取り込みます。LNG拠点としても支援強化します。12月には来年度税制改正大綱においてトン数標準税制の拡充を獲得しました。

東日本の復興に向けて

●民主党震災復興議員連盟事務局長として

発災直後から精力的に動いた。地震発生当日、東京都内での帰宅困難者対策に始まり、現地支援にも全力を挙げました。街頭募金等義援金を募集、民主党・日本赤十字社等を通じて被災地へ届けました。救援物資は時期とニーズに応じて、食料、紙おむつ、粉ミルク、歯ブラシ等段ボール400箱を仲間の議員等とともに被災地へ届けました。また数度にわたり岩手県等被災地へ直接足を運び、現地調査を行いました。

津波で被災した公立学校の移転復旧について

の1600億円の耐震化・防災機能強化予算を獲得しました。全国の耐震化は大きく前倒しされ、来年度予算案と合わせると公立小中学校の耐震化率は約90%にアップ、北九州市も47%から61%超へアップします。子どもたちの安全安心確保をはかるとともに、中小企業への発注による地域経済活性化効果を実現します。

子どもへの放射能の影響対策にも心を砕いている

放射能に対する子どもたちの食の安全の確保について、保護者の皆さん等の不安の声に

対応して、給食の食材の放射線量に関する事前調査、日常食の環境放射線調査の復活、給食1食分の放射線量の事後調査の試験実施を行うことになりました。

この他に福島県内外での健康調査の実施、モニタリングポストの追加設置、福島県内外の家庭表土の入れ替えならびに空調機器導入の国費負担、心の健康を保つ目的でのリフレッシュキャンプの実施、線量計の貸与など、放射能の感受性が高い子どもたちの未来を守るために全力を尽くします。

公立学校施設の耐震化ならびに防災機能強化について

●公立学校施設の耐震化ならびに防災機能強化について

移転先の土地の購入・造成の費用は国の支出の対象外でしたが私は政務官として平野復興担当大臣と折衝、移転先の土地についても初めて国が手当てる方針を確認、政治主導により第三次補正予算で実現する道筋をつけました。

政務官としても東日本大震災被災地復興に全力を挙げている。

私は政務官として政府・与党内を走り回って調整、第三次補正予算において全国で破格

写真で見るときのきいたかしの活動報告

●1年間の活動を写真で振り返ります



写真で見るときのきいたかしの活動報告



きいたかしの向かい。写真右が前外務大臣(当時)



民主党カネミ油症対策議員連盟で被害者から聞き取り



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める



衆議院予算委員会委員代理を務める